

ルナライト・ルナライト100 ルナライトHD

施工説明書

2022.8 改定

- ◎ 施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- ◎ 取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。
- ◎ 施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
- ◎ 当製品は建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
- ◎ 当製品は浴室用途や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。
- ◎ 湿気を帯びた下地・施工後に湿気を帯びる可能性のある下地や、高温度・高湿度になる場所には施工しないでください。
(剥がれや浮きの原因となります)
- ◎ 搬入時、現場内での運搬は本製品がたわむため、2人以上で作業を行い、製品がたわまないように垂直に持ってください。
- ◎ 5℃以下の環境では施工をおすすめしません。専用仮留めテープと専用接着剤を温めてから使用してください。
(接着剤の硬化不良の恐れがあります)
- ◎ 施工中、施工後の養生期間中には換気を行ってください。
- ◎ 専用接着剤、抗菌防カビシリコン、専用プライマーについては、それぞれのSDSにて詳細な安全情報をご確認ください。
- ◎ 振動がかかる部位や、歪みが発生しやすい部位、温度や気圧差が生じる環境では、ルナライト100(比重1.0)のご使用をおすすめします。また、切り欠きや開口等の部位は、クラックなどの発生リスクを軽減するため、加工方法(R加工)を遵守いただき、割付けの検討や下地の強化および接着補強などを実施することをおすすめいたします。
- ◎ **ルナライトHDは特殊な表面加工がされているため、ルナライト、ルナライト100とは表面の艶・色調が異なります。**
- ◎ 施工用吸盤器を使用して施工する場合、施工前に本製品に影響がないことを確認してから使用ください。

⚠ 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注 意 事 項

想定される危険性

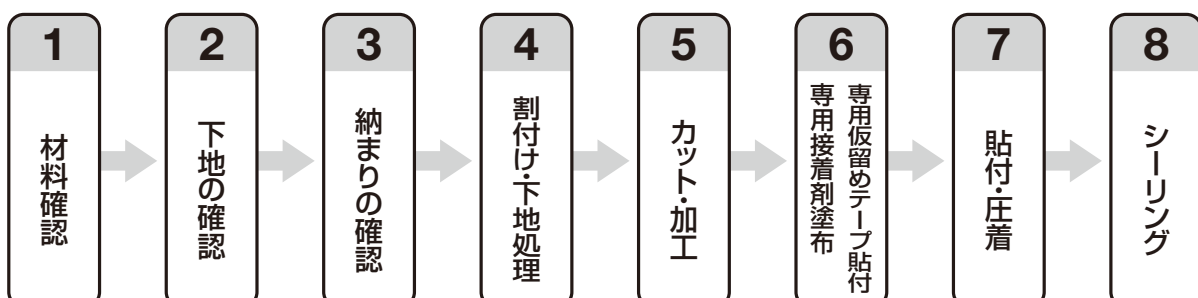
- 指定の専用仮留めテープ・専用接着剤以外は使用しないでください。
- 下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。

剥がれによる
落下の恐れ

- 運搬・作業時には保護手袋を着用するとともに、加工時に粉じんが発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。また、防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし、粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。また、異常を感じたら、直ちに医師の手当てを受けてください。
- カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りをしてください。
- 使用する専用接着剤・専用プライマーには有機溶剤が含まれているものがありますので、使用時には十分換気するとともに、火気に十分ご注意ください。
- 高所作業では必ず安全対策を行ってください。
- 取り扱い後は、うがい・手洗いを励行してください。

怪我もしくは
健康障害を
生ずる恐れ

施工の手順



施工前の確認

1

材料確認

製品仕様

品名	比重	サイズ(mm)	重量(kg/枚)※1
ルナライト	0.8	3×6:t6×(910×1,820)+0,-2mm	9.3
		3×8:t6×(910×2,450)+0,-2mm	12.3
		3×9:t6×(910×2,730)+0,-2mm	13.9
		3×3:t6×(910×905)+0,-2mm※2	4.6
ルナライトHD	0.8	3×6:t6×(910×1,820)+0,-2mm	9.3
		3×8:t6×(910×2,450)+0,-2mm	12.3
		3×9:t6×(910×2,730)+0,-2mm	13.9
ルナライト100	1.0	3×6:t6×(910×1,820)+0,-2mm	11.8
		3×8:t6×(910×2,450)+0,-2mm	14.8
		3×9:t6×(910×2,730)+0,-2mm	16.7

※1. 重量は製品含水率の変動などを考慮した標準値です。

※2. 長さ方向の寸法については製品裏面をご確認ください。

別売り施工部材		サイズ・容量	標準施工量(壁面)	梱包入数
専用接着剤	アイカエコエコボンド GS-330	333ml/本	3×8サイズ/0.7~0.8本	20本/ケース
専用仮留めテープ		ZA-37 15mm×15m/巻 ZA-38 20mm×15m/巻	1巻あたり 1.5枚分/3×8	52巻 40巻
専用 プライマー ※1	溶剤系(JW-900N)	1kg/缶	1kg→3×8サイズ 4~5枚分	2缶/ケース
	水系(RA-900)	2kg/缶	2kg→3×8サイズ 9~10枚分	1缶/ケース
抗菌・防カビシリコーン(JK-57□)		320ml/本	5~6m/本	10本/ケース×2
底目地テープ(KWS□□□□S)		t0.3×20mm×50m/巻	—	5巻/ケース
タッチアップ塗料(ZAK□□□□LH)※2		200g/缶	木口 150~200m/缶	1 缶
補助 部材	アルミ	平目地	L=2,730mm	2本入り/ケース 20本入り/ケース
		見切	L=2,730mm	2本入り/ケース 20本入り/ケース
		出隅	L=2,730mm	2本入り/ケース 20本入り/ケース
	チップソー推奨刃物(ZK-9)		外径165 mm、刃数72	1枚

専用接着剤 GS-330、抗菌・防カビシリコーン JK-57□、専用プライマー JW-900N・RA-900はF☆☆☆☆です。

※1. プライマーの詳細は、6ページの「割付け・下地処理」でご確認ください。

※2. 製品に希釈剤・ハケは同梱されていません。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが
起こらないように刃物は新しいものを選びください。

① 切断加工 電動丸のこ(超鋼チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における
切断用刃物について

刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。
「外径」「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものをご使用ください。

② 穴あけ加工 ドリル(直径12φ以下の場合)、ホールソー、自在ざり(直径12φを超える場合)

③ 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

施工前の確認

2

下地の確認

重要

まずは本製品の施工が可能かどうか確認ください。

I 下地の種類のチェック

適しない下地について

- 湿気を帯びた下地、施工後に湿気を帯びる可能性のある下地への直貼りはできません。
- ALC躯体への直貼りはできません。
- RC壁面への直貼りはできません。
- 塗装面・クロス面への直貼りはできません。
- 不陸が2mmを超える下地への直貼りはできません。

その他、下記「**施工可能な下地**」に該当しない下地の場合は、必ず当社までお問い合わせください。

施工可能な下地について

- セっこうボード（推奨 12.5mm以上）
- モルタル面（含水率4.5%以下・密着強度 1.0N/mm²、平滑な金ゴテ仕上、不陸2mm以下）
- けい酸カルシウム板（推奨 6mm以上・比重 0.8以上）
- ラワン合板（推奨 9mm以上）
- タイル（不陸2mm以下）※タイル下地の場合は事前確認が必要です。詳細は次ページを参照ください。

専用プライマーJW-900N
又はRA-900を全面に塗布してください。

❗ ご注意

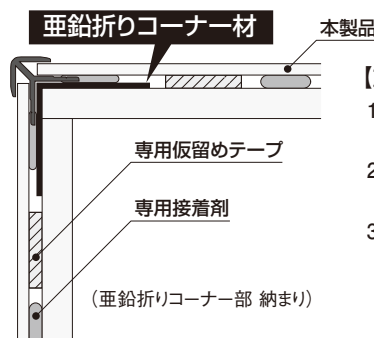
※下地材の選定と構造の作成は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合する様に行ってください。

躯体への下地材固定方法について

- 1 軽量鉄骨 壁下地** スタッドは65形以上を使用してください。
下地材（セっこうボード等）を専用ビスで200～300mmピッチで固定してください。
※枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部は専用ビスで確実に固定してください。
- 2 RC 壁**
 - モルタル仕上げの場合 モルタルはRC壁に対して接着が良いものを選定し、不陸がないように平滑な金ゴテ仕上としてください。
※モルタルの含水率が4.5%以下になってから施工してください。（接着強度 1.0N/mm²以上）
 - 木胴縁の場合 24mm×45mm程度の縦・横胴縁を300mmピッチで躯体にアンカー・カール・釘などで固定し、下地材（セっこうボード等）を専用ビス（200～300mmピッチ）と接着剤を併用して固定してください。
 - GL工法の場合 セっこうボードメーカーの仕様を厳守してください。
※GLボンドは水性ですので、施工後は養生を十分取ってください。
目安として約20日間は養生が必要です。（乾燥したことを確認してから施工してください。）
特に、出隅においては30mm×30mm×0.4mmの亜鉛折りコーナーで補強してください。

出隅は亜鉛折りコーナーで
確実固定を！

推奨『亜鉛折りコーナー』
(株)創建 ☎03-5992-6411



【施工方法】

1. 下地材に亜鉛折りコーナー材を速乾ボンドで完全に接着する。
2. 亜鉛折りコーナー材に接触しないよう専用仮留めテープを貼付ける。
3. 亜鉛折りコーナー材の上、および専用仮留めテープの内周に専用接着剤 (GS-330) を塗布する。

II 下地の施工精度のチェック

- 壁面の水平・垂直の確認を行ってください。
- 壁面に不陸がないようにしてください。

施工前の確認

Ⅲ タイル下地の場合の確認

タイルの下地状態をチェックし、本製品の施工が可能かどうか確認ください。

下地の状態のチェック

① タイル表面が汚れている場合

対処方法 清掃

タイル表面の汚れを十分に除去してください。

② タイル表面の不陸の有無

◎右図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。

※現下地で施工可能な**最大不陸は2mm以下**です。

2mmを超える場合は、下地を作成してください。
タイル表面にはプライマーは塗布しないでください。

対処方法 下地作成

タイルと付着強度が良好な薄塗りできるモルタル

で不陸調整を行うか、6mm以上のけい酸カルシウム板（比重1.0）または、9mm以上のラワン合板で下地を作成してください。

※モルタル：含水率4.5%以下・付着強度1.0N/mm²、平滑な金ゴテ仕上

※ケイカル板、ラワン合板：必ず躯体にビス固定してください。

③ 表面タイルの浮きの有無

◎古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、右図のように打診検査（テストハンマーでタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断）でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルは下記の方法での補修をおすすめします。

対処方法 モルタルの充填又は全面打設

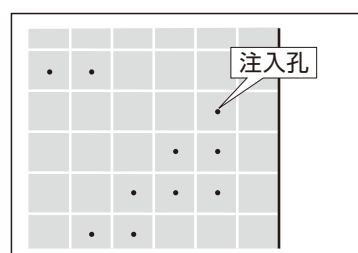
比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで幅広い対応が可能です。躯体（コンクリート・ブロック）とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。

含水率4.5%以下・付着強度1.0N/mm²・
平滑な金ゴテ仕上、不陸2mm以下

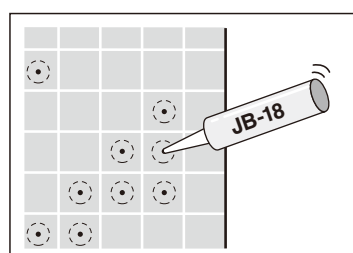
対処方法 ピンニングによる樹脂注入固定

アイカ商品 ジョリシールJB-18

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。

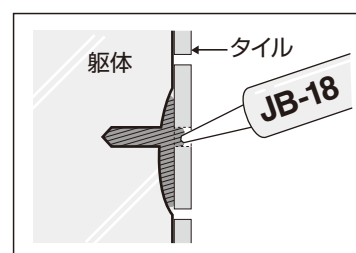


コンクリートドリルにて浮きのあるタイルの中央に1箇所、躯体に達するように穴をあけます。穴の内側を十分に清掃してください。



JB-18をグリッパにて穴の最深部より充填していきタイル表面と同じレベルになるまで充填します。

樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。



注入量=25~30g/1穴



ご注意

- 下地の作製にあたっては建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って作製してください。

その他、下地についての詳細は別途お問い合わせください

(単位:mm)

① ジョイナー納まり

出隅部材	平目地部材	見切り部材	入隅部材



ご注意

- ジョイナー納まりの場合は、化粧板に差し込んでから施工してください。
- 水廻り部に施工する場合、必ず**ジョイナーの中にシリコンを注入**して施工してください。

② 目透かし・突き付け納まり

平目地部

③ シーリング納まり

入隅部	平目地部



ご注意

- 突き付け納まりの場合は、下地精度の影響を受けやすいため、ご注意ください。
納まり精度を求められる場合には、おすすめいたしません。
- タイル下地の場合は下地不陸レベルの調整等が必要となります。**

③ 天井納まり〔天井施工の場合は、建築基準法等の法規制を遵守してください。〕

天井部	壁—天井 接合部



ご注意

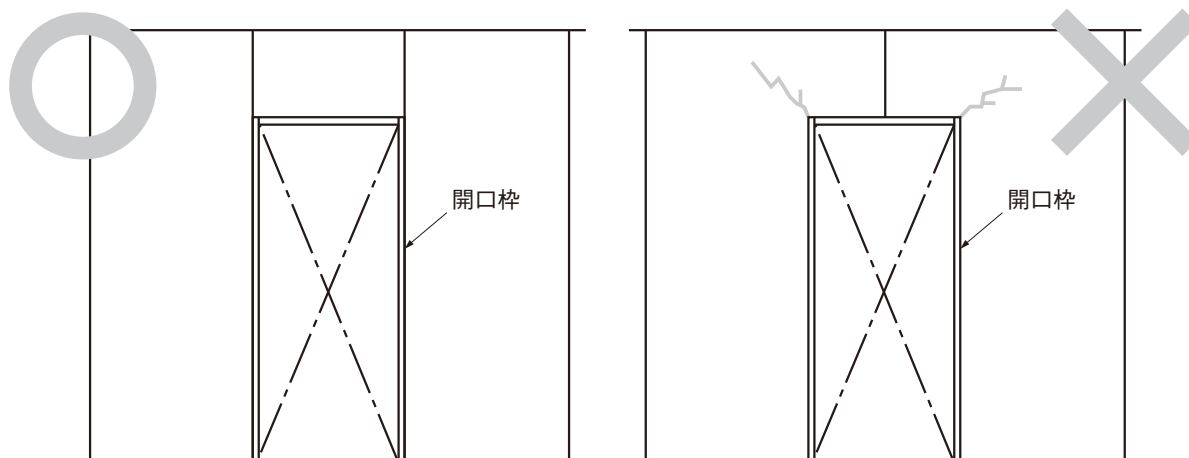
天井への化粧材の施工の際は、脱落のリスクを軽減するため
下記の注意事項を守ってください。

- 天井施工の際は、専用接着剤の塗布量を遵守し、2人作業で行うなど、圧締を十分に行ってください。天井施工の場合専用接着剤の施工量は1本／3×6 1枚あたりです。
- 天井施工の際はアルミハット型ジョイナーの併用をおすすめします。
- 荷重を軽減するため、3尺×6尺以下での施工をおすすめします。

④ 開口の納まり

ご注意 開口部廻りはクラック発生を未然に防ぐために、下記の対策が効果的です。

1. 割付けの検討
- 割付けは、切り欠き隅角部があるとクラック発生の原因にもなります。できるだけ開口幅で縁を切るように、複数枚を使用する割付けとしてください。
 - 切り欠き部が大きい場合、クラック発生の恐れがあります。



2. 下地補強
- 開口部の開閉による振動等の起こる場合は、軽量鉄骨での下地補強をおすすめします。
3. 加工方法 (R加工)
- 穴あけ・切り欠き部は必ず12φ以上のドリル刃物を用いて表面からコーナー部に穴をあけてから加工を行ってください。
 - ピン角加工はクラック発生の恐れがあります。(7ページ参照)
4. 接着補強
- 切り欠きや開口部の廻りには専用接着剤の追加塗布を実施してください。(8ページ参照)

施工方法

4

割付け・下地処理

下記の注意事項を遵守して割付け・下地処理を行ってください。



割付け時の 注意点

- 下地材の目地と本製品の目地が重ならないように、割付けてください。

下地材がモルタル面・けい酸カルシウム板・ラワン合板の場合

本製品を貼付ける部分の全面に予めプライマー(JW-900N又はRA-900)を塗布してください。

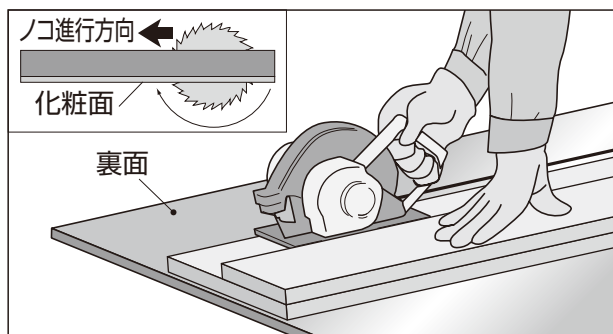
■ 標準塗布量: JW-900N 1kg→3×8サイズ4~5枚分 RA-900 2kg→3×8サイズ9~10枚分



ご注意

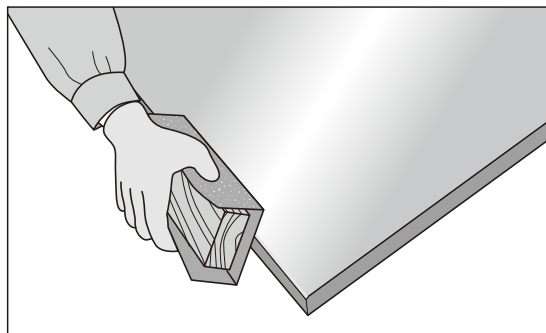
- プライマー(JW-900N、RA-900)は薄めずに、そのままご使用ください。
- プライマー(JW-900N:溶剤系)塗布後、**4時間以上7日以内**に本製品を貼付けてください。
JW-900Nはトルエン・キシレンを含んでおりませんが、ご使用の際には十分に換気を行ってください。
- プライマー(RA-900:水系)は、冬期24時間、春秋期12時間、夏期6時間以上を目安に乾燥させてから7日以内に本製品を貼付けてください。環境により乾燥状況が異なりますので、必ず乾いた事を確認してから、次の工程へ進んでください。
※ 5℃以上でご使用ください。

下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。



カットする時の 注意点

- 切断は当木を用いて、必ず刃物を**裏面**から入れてください。
- 割れやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。
- 化粧面は、マスキングフィルムで保護しておりません。キズ・打跡には十分ご注意ください。



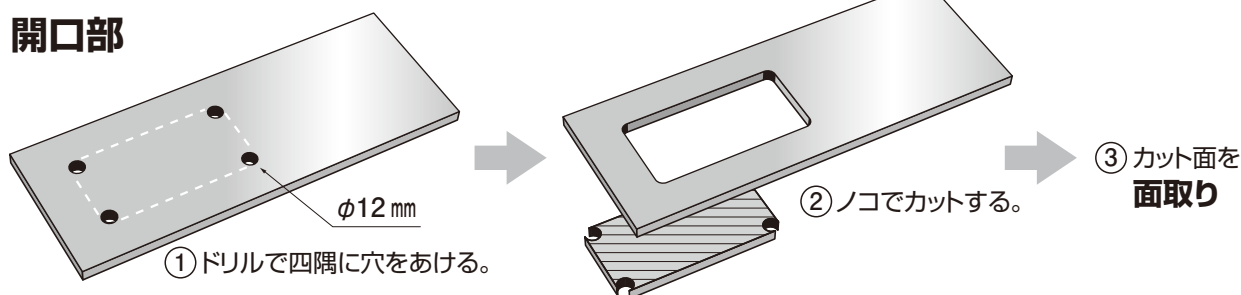
面取り方法

- カット面はサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かし、シーリング納めの場合、カット面を軽く糸面取りしてください。
- カット面の木口、面取り部分に塗装が必要な場合、タッチアップ塗料にて、塗装してください。

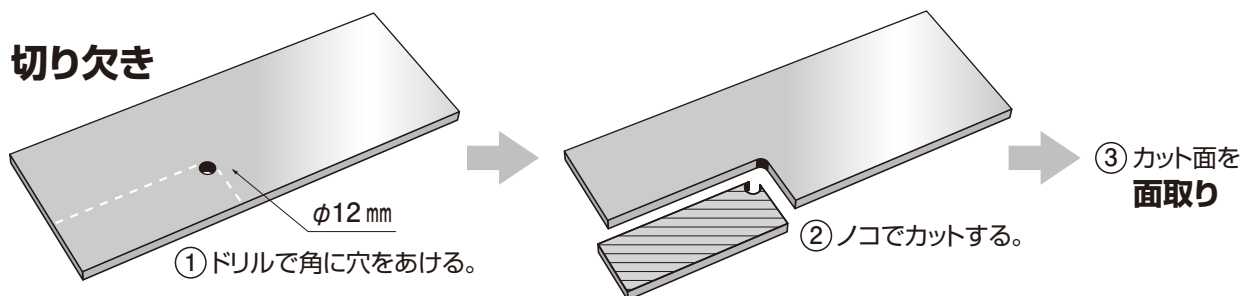
穴あけ・切り欠きの 注意点

- 穴あけ・切り欠きは必ず**12φ以上**の刃物を用いて、**表面**からコーナー部に穴をあけてから行ってください。

開口部

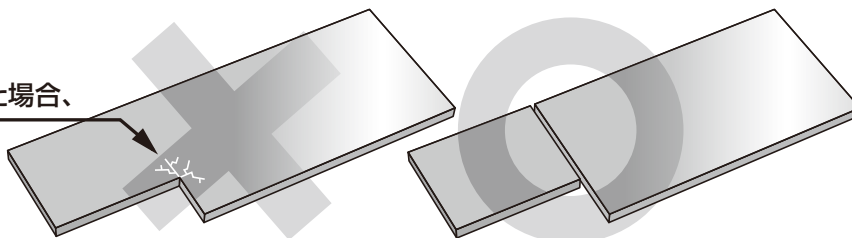


切り欠き



ご注意

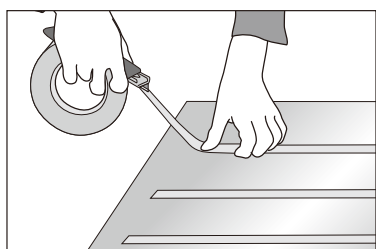
右図のように**ピン角でカット**した場合、
クラック発生の恐れがあります
ので、切り欠きではなく複数枚を
使用する割付けとしてください。
(クラック対策3)



6 専用仮留めテープ貼付・専用接着剤塗布

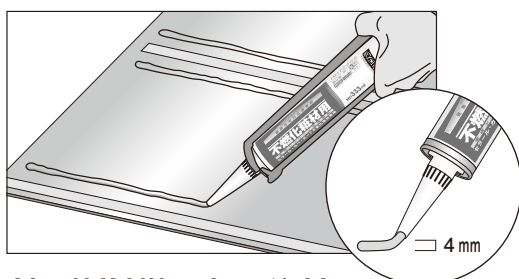
下記の注意事項を遵守して、専用仮留めテープ貼付・専用接着剤塗布を行ってください。

- 施工作業時の環境温度が低い(5℃以下)場合は、専用仮留めテープと専用接着剤を温めてから使用してください。
- 施工前に製品裏面の、ホコリや切削粉等を取り除いてください。



テープ貼付時の 注意点

- 貼付けたテープをよく押えて、しっかりと圧着してください。
- 一度はがれた専用仮留めテープは再使用せず、必ず新しい専用仮留めテープを使用してください。



接着剤塗布時の 注意点

- 本製品には必ず専用接着剤を塗布してください。
- 専用接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- 本製品、3尺×8尺(壁面)1枚に対して、専用接着剤(GS-330)を0.7～0.8本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- 専用接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

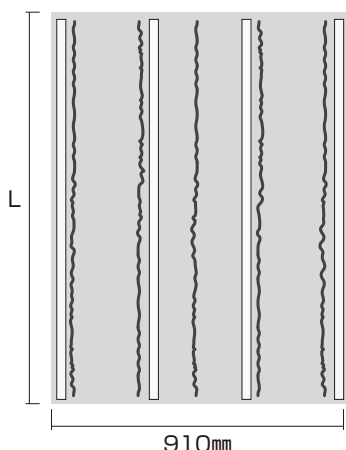
〈専用接着剤使用時のご注意〉

気温が5℃以下の場合には**施工をおすすめしません**。
専用接着剤を温めてから使用してください。

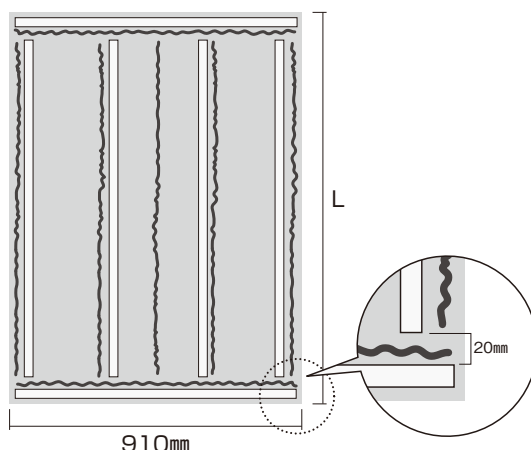
【標準塗布パターン】

凡例： 本製品(裏面) 専用接着剤 専用仮留めテープ

〈壁面施工〉



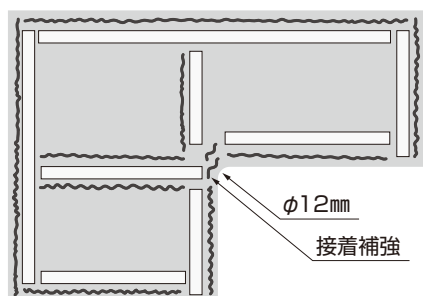
〈天井面施工〉



天井施工の場合は図の箇所の仮留めテープは20mmを開けて施工してください。

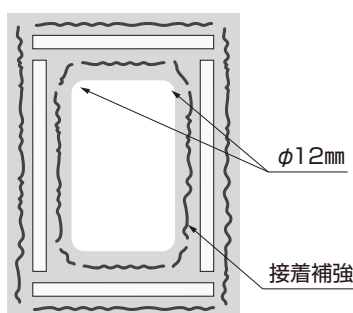
〈切り欠き〉

切り欠きがあるパネルの接着剤塗布はルナライトの外周に専用接着剤を塗布してください。



〈開口部〉

コンセントやスイッチパネルなど



切り欠き・開口部の 注意点

- 切り欠き部や開口部の廻りには専用接着剤の追加塗布を実施してください。(クラック対策4)



ジョイナー納まりの注意点

- 端部に貼付ける仮留めテープの位置はジョイナー裏面の脚の長さの分を控えて貼ってください。



天井施工時の注意点

- 天井施工の際は、専用接着剤の塗布量を遵守し、圧締を十分に行ってください。（天井施工の場合専用接着剤の施工量は1本／3×6 1本あたりです。）
- 天井施工の際はアルミハット型ジョイナーの併用をおすすめします。
- 荷重を軽減するため、3尺×6尺以下での施工をおすすめします。

7

貼付・圧着

下記の注意事項を遵守して貼付・圧着を行ってください。



貼付時の注意点

- 本製品を貼付ける際に、中央部に**浮き**が発生しないように注意してください。**尚、貼付けは2人以上で行ってください。**又、貼付け時は開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください（施工後のクラックの原因になる場合があります）。
- ※ 仮留めテープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。
- ※ 施工用吸盤器を使用して施工する場合、施工前に本製品に影響がないことを確認してから使用ください。

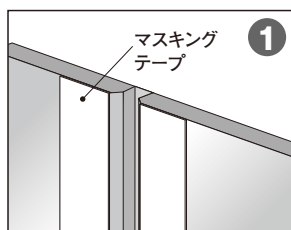
仮留めテープ部



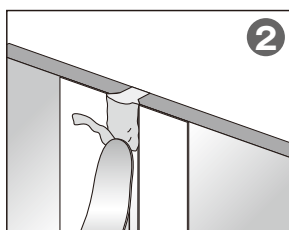
圧着する時の注意点

- **仮留めテープ部（矢印の部分）**をしっかりと押さえてください。
- ※ 接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。
- ゴムハンマーなどによる圧着はしないでください。また、化粧面に強い衝撃を与えないでください。割れの発生や接着不良の原因になります。

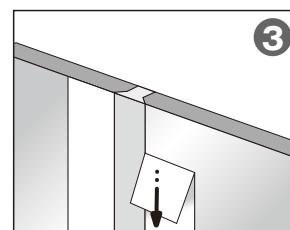
下記の手順に従ってシーリングを行ってください。(シリコン納まりの場合)



マスキングテープを貼付け、奥までしっかりとシリコンを注入する。



ヘラなどを用いて、余分なシリコンをかき取る。

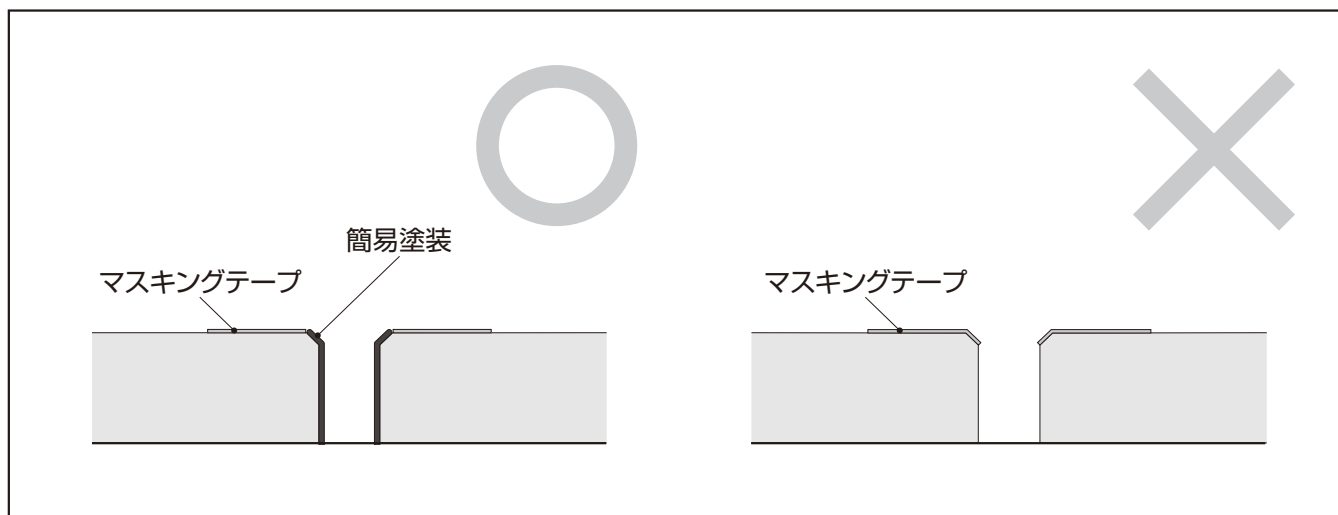


マスキングテープを矢印の方向にゆっくりと剥がす。



マスキングテープ使用時の注意点

- マスキングテープ貼付けの際は、弱粘着タイプの養生テープを使用してください。粘着性の高いテープを使用した場合、表面の塗装が剥がれる恐れがあります。
- マスキングテープを本製品の面取部分および木口部分に貼付けないでください。簡易塗装が施してあるため、マスキングテープを剥がす時に塗装が剥がれる恐れがあります。



ご注意

- 本製品の表面にシーリング材等が付着すると、その成分が表面に浸透し拭き取りできなくなりますので、養生にはご注意ください。

お手入れ方法

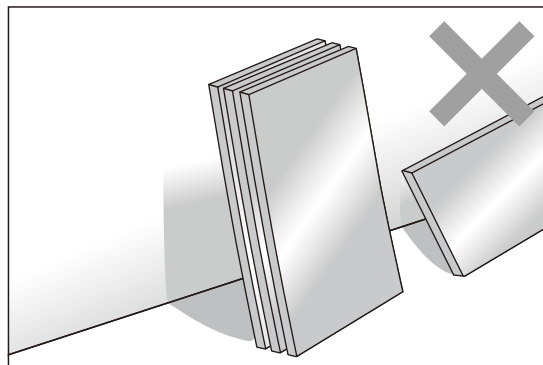
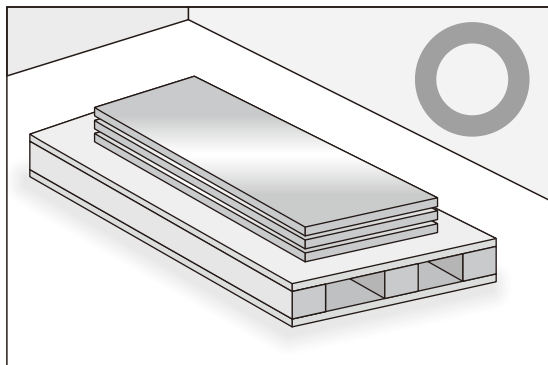
- 本製品の表面の汚れを除去する時は、**柔らかい布・ウエスなどで水拭き**をしてください。
または、中性洗剤を水で薄めたもの(中性洗剤:水=1:200~1000程度)で拭き取った後、水拭きをしてください。水拭き後は柔らかい布・ウエスなどで水分を拭き取ってください。
- 本製品の表面の拭き掃除をする時、**雑巾やタオルでの乾拭きはしないでください。**
また、強く拭いたり、同一箇所を何度も拭きすぎないでください。表面のキズや艶変化など外観を損なう原因となります。
- メラミンスポンジ、ナイロンたわし、スチールウール、研磨剤入り洗剤などでの清掃はしないでください。
- アルコールやシンナーで表面を擦ると艶が変わります。汚れを取るために使用せざるを得ない場合は、部分的に使用し、軽く拭き取ってください。

保管・運搬時の注意事項



ご注意

- 地面やコンクリート床面へのじか置きは避け、パレット等の上に平積みで保管してください。(反り防止のため必ず平積みでお願いします。)
- 平積みの1番上の製品は、化粧面を必ず下に向けて保管してください。
- 保管時は製品の塗装表面保護のため、同梱の養生シートを取らないで保管してください。
- 平積みの上にものを置いたり、踏んだりしないでください。
- 雨水等、水分がかかる場所や直射日光の当たる場所、低高温環境では保管しないでください。
- 立て掛けはしないでください。反りが生じる場合があります。



- 搬入時、現場内での運搬は本製品がたわむため、2人以上で作業を行い、製品がたわまないように垂直に持ってください。
- 持ち上げおよび下ろしの際の局部荷重や衝撃により、本製品に縁欠け・クラック・割れが生じることがありますので、取り扱いは丁寧に行ってください。

製品養生時の注意事項

- 現場塗装やコーキングのために製品の養生を行う場合には、必ず、室内壁用(紙粘着タイプ)養生テープをご使用ください。屋外壁用(布粘着タイプ)養生テープ等の粘着が強いタイプは、本製品の表面化粧層の剥離の恐れがあるため、使用しないでください。
- 養生テープの貼付けは、長時間の放置を避け、養生テープを剥がす場合は、図-1のように矢印の方向(180度逆方向)にゆっくりと剥がしてください。
- 養生テープを本製品の木口部分には貼付けないでください。
養生テープを剥がす時に塗装が剥がれる恐れがあります。

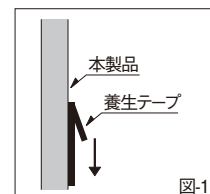


図-1



- ・室内壁用マスキングテープ(紙粘着タイプ)
- ・紙製マスキングテープ

使用禁止



- ・屋外壁用マスキングテープ(布粘着タイプなど)
- ・クロステープ、ガムテープ

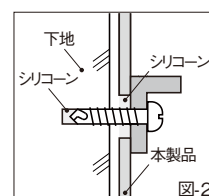
*一般的には緑色

補修時の注意事項

- 本製品の表面のキズのタッチアップ・カット面の木口、面取り部分の塗装にはルナライトタッチアップ塗料（ZAK□□□□LH）を使用してください（□：製品品番）。
- 希釈用シンナー・筆・ハケは同梱されていません。
- 容器に記載されております注意事項をよく読み、正しく使用してください。
- タッチアップ塗料には抗菌性能・防汚機能はありません。
- 使用前に塗料の中身が均一になるよう、よく混ぜてから使用してください。
- タッチアップ塗料はシンナーで希釈して使用し、配合比率は
タッチアップ塗料：シンナー＝ 100：約20～50（重量比）を目安に希釈してください。
- タッチアップ塗料をシンナーで希釈する場合、石油系のシンナーは使用しないでください。
- タッチアップした後は約1時間程度、自然乾燥させてください。
- タッチアップ塗料の仕上がり状態と本製品の仕上がり状態は異なります。
事前に仕上がりを確認してから実施することをおすすめします。

器具固定時の注意事項

- 器具を取り付けの際、下地との間に約1mm程度の接着層があるため、締め付け過ぎると器具の廻りにクラックが生じる場合があります。ビスの締めすぎに注意し、本製品に負荷がかからないようにして取り付けてください。
- 器具を固定する部分には接着剤をあらかじめ塗布してください。
- ビスを直接本製品に効かせない様にしてください。
- 必ずビス径より大きな穴（通し穴）をあけて下地に固定してください。
- 通し穴にシリコンを充填してください（図-2）。



その他の注意事項

- 平成12年施行の改正建築基準法により、不燃認定ラベルの貼付義務がなくなりました。

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

<https://www.aica.co.jp/> アイカ工業



業務用

● 商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。

☎ 0120-525-100 TEL 052-409-8313 受付時間：9時～17時

● アイカカタログセンター

TEL 052-409-1471

※問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店所の営業日は月～金曜日、休業日は土曜日・日曜日・祝日です。カタログ・サンプル当日出荷のホームページ受付締め時間は14:00です。
※フリーダイヤルは、携帯電話・一部のIP電話等からはご利用にならない場合がございます。

P028-05
22.08

ルナライト
ルナライト100
ルナライトHD
施工説明書